

承認番号	23-10
研究課題名	肝胆膵外科治療症例における術後合併症発生の危険因子の検討
研究の意義・目的	肝胆膵外科治療は安全に施行されるようになってきたが、いまだに術後在院死亡率は約1%である。術後合併症発生率を減らすことは、術後在院死亡率の低下へとつながると考えられ、合併症発生の危険因子を明らかにし、術後成績の向上を目的とする。
研究期間	承認日から2028年12月31日
承認日	2023年3月2日
対象者となる方	2014年1月～2022年12月の間に肝胆膵外科治療を受けた全患者
利用又は提供する試料・情報	診療記録（血液検査やレントゲン写真などの画像結果を含む）
利用者の範囲	自施設のみ
診療科	外科・肝胆膵外科
代表施設と研究責任者	本院 肝胆膵外科 宮下正寛
試料・情報を管理する研究機関の長	院長 平田一人
試料・情報を公表する方法	研究成果は研究対象者を特定できないようにした上で学会や学術雑誌等で公表する
試料・情報の提供方法	該当無し
本院の研究責任者	肝胆膵外科 宮下正寛
情報の提供を行う機関の長	石切生喜病院 院長 平田 一人
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否 されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	〒579-8026 東大阪市弥生町 18-28 石切生喜病院 電話:072-988-3121 臨床研究支援センター（内線6126） 宮内 谷川 （文書の場合は研究責任者に、電話の場合は臨床研究支援センターに連絡下さい）